



# 日本と中国の架け橋に！



## 中国・廈門での留学生生活を報告

毎年、宜野湾市では友好都市である中国・福建省・廈門市の廈門理工学院へ留学生を派遣しています。今回、平成23年9月～平成24年8月まで1年間の留学を終えた高江洲麻利子さんの帰国報告会が11月28日(水)市役所で行われました。



第10期留学生  
高江洲 麻利子さん



高江洲さんは、写真を交えて廈門理工学院での授業内容や活動を主に、廈門での生活の様子を報告してくれました。「最初は自己紹介を中国語でもしても発音が悪くて通じず、シヨックを受けました。授業中は隣の席に中国人の日本語学科の生徒が1名付き、発音が間違っていればすぐに直してくれました。」と授業の様子を話し、「日本語学科の生徒から、語学を学ぶ上では、話すこと、コミュニケーションを多くとることの大切さを学びました。今では、私の中国語勉強法の1番大切な方法になっています。」と笑顔で話してくれました。高江洲さんは、在学中に中国語検定5級合格。(6段階で6級が最上位)

また、「今までのどの一年よりもあつという間の一年間でした。毎日が新しい発見や出会い、一日一日自分自身の成長を感じながらの生活はとても充実していて、本当に人生の財産になる時間を過ごすことができました。」と廈門での想いを話し、最後に「沖繩に戻り始まった残りの大学生生活の中でもさらに成長し、将来は沖繩と中国、日本と中国のために活躍できるような人になるために、これからも頑張ります。」と意気込みを語ってくれました。



▶福建土楼にて(写真左から2番目)(写真右から2番目は現在留学中の比嘉さん)

## 市政フラッシュ

10/26  
11/30

11  
26



### 相談技術のスキルアップを目指して

10月26日(金)と11月30日(金)の二日間、市民から様々な相談を受け付ける庁内外の相談員を対象に自殺対策相談員研修を開催しました。講師には、沖縄県立看護大学准教授の渡久山朝裕先生をお招きして、自殺に関する相談への対応方法を学び、とても充実した研修となりました。



### 市内公共施設の指定管理者が決定

公共施設を民間企業等のノウハウによる有効活用で市民サービスの向上を図ることを目的に、市内3公共施設の指定管理者が、各指定管理者候補者選定委員会の選定と12月議会の議決を経て下記のとおり決定されました。平成25年度より3施設は指定管理者による管理運営のもと施設管理の効率化と市民サービスの向上を図ります。

| 施設名            | 指定管理者名        |
|----------------|---------------|
| 宜野湾マリン支援センター   | (株) マレア・クリエイト |
| 宜野湾ベイサイド情報センター | 琉球インタラクティブ(株) |
| 宜野湾海浜公園等       | はごろもパークマネジメント |

11  
27



### クォーターリーミーティングが開催されました

佐喜眞市長と普天間飛行場、キャンプフォスター、海軍病院の3司令官による今年度3回目の「クォーターリーミーティング」が市役所庁議室にて開催されました。ミーティングでは、災害時基地内通行の現地協定が昨年11月に締結されたことを受け、今後の避難訓練の実施が提案されたほか、市道11号及び中原進入路、市民広場及び市民駐車場等について協議が行われました。